

奈良県教育委員会

週報

第2333号

令和2年1月23日発行

目 次

(件 名)	(宛 先)	(主管課)	(頁)
奈良県立美術館特別展「生誕90年 田中一光 未来を照らすデザイン」 の鑑賞について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 学 校 長	企画管理室	1
令和元年度奈良県小学校社会科冬季 研究大会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 小 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	学校教育課	4
令和3年度奈良県教育委員会特別指 定研修員の募集について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 公 立 学 校 長	教育研究所	6

(次の週報は、令和2年2月6日(木)発行の予定です。)

各市町村教委教育長 }
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

奈良県立美術館特別展「生誕90年 田中一光 未来を照らす デザイン」の鑑賞について（通知）

このことについて、令和2年1月25日（土）から奈良県立美術館で下記のとおり特別展が開催されますので、児童及び生徒の鑑賞について特段の御配慮をお願いします。

記

1 展覧会名

特別展 生誕90年 田中一光 未来を照らすデザイン

2 開催趣旨

グラフィックデザイナー・田中一光は1930年に奈良に生まれ、2020年に生誕90年を迎える。本展は、奈良に生まれ、日本、そして世界を舞台にグラフィックデザイナーとして活躍した田中一光の作品を通じて、その業績を振り返る。

田中一光は奈良市内に生まれ、幼い頃から興福寺や春日大社といった奈良の歴史と文化に親しんで育った。その後京都で学生時代を過ごし、大阪、東京と活動の場を移していった。その経歴は日本のグラフィックデザインの黎明と発展に重なるような道のりでもあった。

田中一光はグラフィックデザイナーとして、ポスター、エディトリアルといったグラフィックデザインをはじめ、デザインのディレクションやプロデューサーとして、日本のグラフィックデザインを紹介する場においても高い手腕を発揮した。その膨大な業績の中でも、グラフィックアートを中心とした作家としての創作活動の一部は奈良県立美術館にも収められている。また自身の創作活動のみならず、仕事、プライベートを問わず幅広い交流を持った田中一光は、デザイン分野の枠を超えた現代ならではの日本の文化の発信、そして未来へ向けた創造の展開を目指していた一面もあった。

この展覧会では、幅広い田中一光の作品を通じて、その創作活動の魅力を伝えると同時に、

作品を通して、田中一光が目指したデザインによる日本文化の発信を目指す姿勢、デザインの発信する力、創造のエネルギーを感じて頂きたい。

3 開催場所

奈良県立美術館

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

TEL 0742-23-3968

4 会期等

会 期 令和2年1月25日(土)～3月15日(日)

休館日 1月27日(月)、2月3日(月)、2月10日(月)、
2月17日(月)、2月25日(火)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

5 観覧料

一 般 800円(600円)

大・高生 600円(400円)

中・小生 400円(200円) ※()内は団体料金(20人以上)

※次の方は無料

(1) 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方
1人

(2) 外国人観光客(長期滞在者・留学生を含む)と付添の観光ボランティアガイドの方

6 関連事業(※ミュージアム・コンサート以外は観覧券が必要)

(1) 特別対談「田中一光デザイン室の日々」

講師 デザイナー・元田中一光デザイン室勤務 太田 徹也 氏

聞き手 当館学芸員

日時 3月1日(日)午後2時～(午後1時30分開場) 定員80人・先着順

会場 1階レクチャールーム

田中一光の初代アシスタントとして二人三脚でデザイン室を切り盛りした太田氏に、
田中一光の生の姿についてお話しいただく。

(2) ワークショップ「漆で作るモダンデザイン」

講師 漆芸家 小西 寧子 氏

日時 2月23日(日)午後2時～ 予約制

予約方法等は公式ホームページ、フェイスブック等で告知する。

会場 1階レクチャールーム

(3) 美術講座「田中一光の造形感覚 日本の美をデザインする」

講師 当館学芸員

日時 2月16日(日)午後2時～(午後1時30分開場) 定員80人・先着順

会場 1階レクチャールーム

(4) 当館学芸員によるギャラリートーク

日時 2月1日(土)、2月22日(土)、3月14日(土)午後2時～

会場 展示室

(5) 体験コーナー

田中一光デザインに挑戦

(6) ミュージアム・コンサート

7 同時開催展示(※観覧無料)

連携展示 NPO法人文化創造アルカ×奈良女子大学 大和・紀伊半島学研究所 なら学
研究センターによる連携展示「きたまちと奈良女子大学」

連携展示は、当館1階ギャラリーで、奈良県の市町村をはじめとする県内の機関・団体などに
展示会の内容に関わる展示を行ってもらい、展示会への理解と関心を深めると同時に、
奈良県の取り組みや魅力を伝えるコーナーである。

[連携展示イベント]

□ 連携講座

「きたまちの建造物」

講師 奈良女子大学 上野 邦一 氏

日時 2月9日(日) 11時～12時

「きたまちコンセンートのとりくみ」

講師 きたまちコンセント実行委員

奈良女子大学 寺岡 伸悟 氏

日時 2月26日(水) 14時30分～16時

□ 連携イベント

宝亀殿「和太鼓演奏」

日時 1月25日(土) 12時～12時15分

「きたまちと奈良女子大学の魅力発見ツアー」

日時 2月29日(土) 13時～16時

「きたまちマーケット」

日時 3月8日(日) 11時～15時

「若草中学校吹奏楽部ミニコンサート」

日時 3月8日(日) 13時～13時30分

教学第1200号

令和2年1月23日

各市町村教委教育長
各小学校長
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

令和元年度奈良県小学校社会科冬季研究大会 の開催について(通知)

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 研究主題

自らの学びを深め、よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学習
— 一人の営みに学び、ねり合う学習を通して —

2 主催

奈良県教育委員会、奈良県小学校教科等研究会社会科部会

3 期日

令和2年2月14日(金)

4 会場

県立教育研究所 磯城郡田原本町秦庄22-1

5 参加対象者

県内小学校及び特別支援学校小学部教員

6 日程

14:00～14:05	開会行事
14:05～14:40	事業報告及び評価研究
14:45～16:50	学年別分科会

7 学年別分科会

学 年	提案内容及び提案者	指導助言者
第3学年	「工場ではたらく人々の仕事」 —木のまち 桜井— 桜井市立桜井小学校 河井 香奈	大和郡山市立筒井小学校 教頭 木村 栄一
第4学年	「自然災害から人々を守る活動」 —風水害から町を守る取組— 五條市立五條小学校 上田 智基	桜井市立桜井西小学校 教頭 的場 大洋
第5学年	「水産業のさかんな地域」 —持続可能な日本の水産業について考える— 橿原市立白樫北小学校 笹岡 智佳子	大和高田市立浮孔西小学校 教頭 立野 順子
第6学年	「持続可能な社会の創り手を育む社会科学習」 —国連の動きと日本人の役割を事例に— 大和郡山市立郡山西小学校 島 俊彦	明日香村立明日香小学校 教頭 福辻 智実

8 参加申込み

平成31年4月4日付け週報第2314号掲載の参加基本様式により、職名及び氏名を記入の上、令和2年2月12日（水）までに下記宛て郵送又はFAXで申し込むこと。

〒633-0007 桜井市大字外山330番地

桜井市立城島小学校 砥出 友美

FAX 0744-42-1168

各市町村教委教育長 }
各公立学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員 の募集について（通知）

このことについて、下記により募集しますので、関係教職員へ周知するとともに、応募についてよろしくをお願いします。

記

1 趣 旨

児童生徒心理の複雑化や、高リスクを抱える子どもの増加により、学校現場においては専門的知見に基づいた適切な支援が急務となっている。そのため、奈良県教育委員会は、公認心理師の資格取得を目指す特別指定研修員（以下「研修員」という。）を指定し、臨床心理や学校心理に特化した研修プログラムを推進することにより、教育相談の場において中核となる人材育成を図る。

2 対象者

- (1) 公立学校の教諭・主幹教諭・養護教諭で、所属長の推薦を得た者
- (2) 令和4年度までに公認心理師の資格を取得する意思を有する者
- (3) 心身ともに健康で長期の研修に耐え得る者
- (4) 研修終了後、習得した知見や技能を県の教育課題解決に向けて還元するという具体的展望や意欲を有する者

3 期 間

令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間

4 研究分野・募集人員

臨床心理及び学校心理 2名

5 研修・研究の進め方

- (1) 研修員は、原則として当初2年間は大学院（臨床心理専攻）に修学する。研修期間中は、公認心理師（国家資格）資格取得又は臨床心理士（公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会）資格試験合格を目指すこととする。
- (2) 修士課程修了後の1年間は、所属校等の協力を得て、実践的研究を行う。
- (3) 研修員は、研究実践を広く伝えるため、県立教育研究所で実施する教育セミナー、研修講座で報告を行うとともに、報告内容を教育研究所Webサイトに掲載する。

6 提出書類、提出先等

- (1) 応募に必要な書類
 - ア 志願書（第1号様式）
 - イ 所属長の推薦書
所属が市町村立学校の場合は（第2号様式）、県立学校の場合は（第3号様式）
- (2) 提出先
県立教育研究所 教科・情報研究部 教科教育係
〒636-0343 磯城郡田原本町秦庄22-1
- (3) 応募期日等
令和2年4月1日（水）から20日（月）までの期間に、(1)の書類を提出すること。
ただし、所属が市町村立学校の場合は、当該市町村教育委員会を通じて提出すること。
なお、締切厳守とし、4月20日（月）17時必着とする。
- (4) 問合せ先
県立教育研究所 教科・情報研究部 教科教育係
TEL 0744-33-8903（直通）

7 研修員の選考と通知

- (1) 選考
応募書類と面接により選考する。
- (2) 面接
日時 令和2年5月8日（金）9時から
場所 県立教育研究所
応募書類受領後、詳細を所属校に連絡する。
- (3) 通知
選考結果は所属長に通知し、所属が市町村立学校の場合は、市町村教育委員会にも併せて通知する。

8 備考

入学を志願する大学院については、教育研究所と相談のうえ決定するものとする。

なお、大学院に合格し入学が決定した後、所定の手続について、県立学校は所属長を、市町村立学校は市町村教育委員会を通じて別途通知する。

令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員大学院研修要項

奈良県教育委員会

公立学校教員が特別指定研修員として、現職のまま所定の大学院で研修するに当たっては、教育公務員特例法第22条第2項及び第3項に基づき、下記要項により取り扱うものとする。

記

- 1 大学院に現職のまま入学しようとする者（以下「入学志願者」という。）の基準
 - ① 大学院入学時において、積極的な研修意欲を有する者
 - ② 大学院修了後、引き続き本県の教員として勤務し、県の教育課題解決のために実践を重ねる意思を有する者であること。
 - ③ 修士課程または修了後に、令和4年度までに公認心理師の資格を取得する意思を有する者
 - ④ 心身ともに健康で長期の研修に耐えうる者であること。

- 2 派遣期間
原則として令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間とし、在職校等の勤務を離れて修学に専念する。

- 3 修学年限等
 - (1) 派遣期間内に大学院を修了できない場合は、原則として研修期間の延長は認めない。
 - (2) 派遣期間内において休学・退学等により、研修期間に変化があった場合は、学校長を通じてそれぞれ必要な措置をとること。

- 4 給料及び諸手当の支給・経費等
 - (1) 派遣期間中における給料、教職調整額、扶養手当、地域手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当及び義務教育等教員特別手当については県が支給する。
 - (2) 入学試験検定料、往復旅費等の受験に要する経費は受験者の負担とする。
 - (3) 入学金、授業料、調査研究や実習にかかる費用、資格取得にかかる費用、及び所属長への

事務連絡に係る経費は、派遣教員の負担とする。

5 備考

入学志願者は、大学院の受験結果について、結果通知のコピーを添付の上、所属長の副申（様式自由）とともに市町村教育委員会を経て県教育委員会へ報告する。

報告の後、大学院入学に係る所定の手続を別途通知する。

(第1号様式)

(A4判)

年 月 日

県立教育研究所長 殿

学校名

職

氏名



令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員志願書

下記により令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員に志願します。

記

志 望 動 機

研究課題及び研究内容

(課題)

(内容)

研究成果を奈良県教育に生かすための具体的な展望及び構想

これまでの研究、実践、取組等	
研究活動、研究発表の状況	
発表年月日	研 究 内 容
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

第 号
年 月 日

県立教育研究所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校長 印

令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員推薦書

令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員として下記の者を推薦します。

記

志願者職氏名	
推 薦 理 由	

第 号
年 月 日

上記のとおり推薦がありましたので申請します。

〇〇〇〇教育委員会教育長 印

第 号
年 月 日

教育研究所長 殿

〇〇〇〇学校長 印

令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員推薦書

令和3年度奈良県教育委員会特別指定研修員として下記の者を推薦します。

記

志願者職氏名	
推 薦 理 由	